

# 「リアル」を構成要素とする複合名詞の語彙的特徴

渡邊 ゆかり (広島女学院大学文学部)

## Lexical Features of Japanese Nouns Compounded from ‘*RIARU*’ and Other Morphemes

Yukari Watanabe (Hiroshima Jogakuin University)

### 1. はじめに

英語の形容詞‘real’から作られた外来語の「リアル」は、近代に登場して以降、日本語の中に広く浸透し、その用法も多様化していった。近年では、「リアルな」「リアルに」といった連体修飾用法や副詞的用法のみならず、「リアルタイム」「リアルクローズ」「リアル友達」など様々な複合名詞の構成要素としても多用されている。このような「リアル」を構成要素とする複合名詞には、英語（あるいはヨーロッパの言語）の‘real’+名詞」という形をとる名詞句からの借用にあたるものから日本で独自に作られたものまで数多く存在する。また、その語彙バリエーションは、時代や使用ジャンルといった位相の影響を大きく受けている。本研究では、Web 上で利用可能なコーパスや検索システムを用いて収集した用例の調査に基づき、「リアル」を構成要素とする複合名詞の語彙バリエーションが、こうした位相とどのような関わりを持つのかを明らかにする。

### 2. 調査方法

調査に際しては、次の表 1 に示す、Web 上で利用可能なコーパスと検索システムを用い、「リアル」を構成要素とする複合名詞を収集した。なお、③については、「リアル」を検索語として文字列検索したところ、検索結果が表示上限数の 500 件を超えていたので、表示された 500 例の中から、「リアル」と語基形態素が結び付いてできている複合名詞のみを取り出し、分析を行った。

表 1 調査に利用したコーパス

①KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス小納言の書籍ジャンル (1971 年 - 2005 年、21,943 件、約 6,230 万語) (以下「書籍」と略称する)
②KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス小納言の雑誌ジャンル (2001 年 - 2005 年、1,989 件、約 440 万語、以下「雑誌」と略称する)
③KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス小納言の Yahoo! ブログジャンル (2008 年、52,680 件、約 1,030 万語、以下「ブログ」と略称する)
④Web 上で公開されている 1947 年 - 2010 年の国会会議録

その後、①から収集された語彙の分析結果を基盤に、専門領域の相違という観点からまず

①と④の〔リアル＋名詞〕の語彙バリエーションを比較し、次に、情報の伝達目的の相違という観点から①と②③各々の〔リアル＋名詞〕の語彙バリエーションとを比較した。以下、これらの分析結果を見ていく。

### 3. 書籍における〔リアル＋名詞〕

次の表2は、書籍に存在した〔リアル＋名詞〕もしくは〔名詞＋リアル〕を構成要素として含む普通名詞の異なり語数と延べ語数である。

表2 書籍中の〔リアル＋名詞〕〔名詞＋リアル〕を構成要素として含む普通名詞の異なり語数と延べ語数

	前項 or 後項が外来語	前項 or 後項が外来語以外	合計
異なり語数	47	13	60
異なり語数の割合 (%)	78.33	21.67	100.00
延べ語数	257	21	278
延べ語数の割合 (%)	92.45	7.55	100.00

表2から「リアル」と結び付く名詞の多くは外来語であることがわかる。なお、〔名詞＋リアル〕を構成要素とするものは、「〔バーチャル＋リアル〕体験」「〔ばーちゃん＋リアル〕体験」の2例のみであった。このことから、「リアル」は基本的に〔リアル＋名詞〕という形で後項名詞の意義を限定するのに使用されることがわかる。次に、〔リアル＋名詞〕を構成要素とする普通名詞に限定し「リアル」の意義を調べたところ、表3に挙げたA1-Hの意義が存在した。

表3 〔リアル＋名詞〕における「リアル」の意義（書籍の普通名詞）

A1	「偽物の」に対する「本物の」「正真正銘の」の意
A2	「簡易的な」「一般的な」に対する「本格的な」「ハイクラスの」の意
B	「真実らしさに欠けている」に対する「真に迫っている」の意
C1	「空想の」「虚構の」に対する「現実の」「実際の」「実社会の」の意
C2	「サイバー上の」に対する「現実の」「実際の」「実社会の」の意
D	「現在と一致しない」に対する「現在と一致する」の意
E	「リアルタイムの」の意
F	「80286以降のCPUを、これ以前の8086のCPUとして扱う」意から転じた「実際よりも能力が劣っている」の意
G	「理念を重視する」に対する「現実の力関係や利益を重視する」の意
H	ドイツの‘realschule (実科学校)’の形態素の一部が表す「実科の」の意

なお、A1とA2の「リアル」は、後項名詞がその名に相応しいものであることを表してい

る点において共通しているので、A の下位カテゴリーとして位置づけた。また、C1 と C2 も、「リアル」が〈現実の〉〈実際の〉〈実社会の〉という意義を含んでいる点で共通しているので、C の下位カテゴリーとして位置づけた。

各意義に対応する〔リアル＋名詞〕には、次の表 4 に挙げる要素が存在した。

表 4 意義ごとに見た〔リアル＋名詞〕の異なり例（書籍の普通名詞）

A1	〔リアル＋モカシン〕 1995、〔リアル＋ファイト〕 2001、〔リアル＋夫婦本番〕 2002、 〔リアル＋ドキュメント〕 2003、〔リアル＋ファー〕 2005
A2	〔リアル＋インターネット〕 2001
B	〔リアル＋描写〕 1989、〔リアル＋イメージ〕 1990、〔リアル＋映像〕 2002、 〔リアル＋体験〕 2002
C1	〔リアル＋ランド〕 1994、〔リアル＋画像〕 2005
C2	〔リアル＋世界〕 1997、〔リアル＋イベント〕 2001、〔リアル＋店舗〕 2001、 〔リアル＋空間〕 2002、〔リアル＋市場〕 2002、〔リアル＋社会〕 2002、 〔リアル＋ワールド〕 2002、〔リアル＋商店〕 2004、〔リアル＋美少女〕 2005、 〔リアル＋マネー〕 2005
D	〔リアル＋タイム〕 1987
E	〔リアル＋ネットワークシステム〕 2001、〔リアル＋オッズ〕 2003
F	〔リアル＋モード〕 1996
G	〔リアル＋ポリティック〕 1998
H	〔リアル＋シュレー〕 2001

表 4 より、第一に、1997 年から登場している C2 タイプの〔リアル＋名詞〕の異なり数が 10 例と他と比べて多めであることがわかる。その背景には、1997 年から 2010 年にかけてのインターネット利用人口の急激な増加が大きく関与していると考えられる。総務省の「通信利用調査」<sup>1</sup>によれば、1997 年末のインターネット利用人口率は、9.1%であるが、2010 年末には、78.2%に達している。またインターネット利用人口の増加とともに、一人あたりのインターネット利用時間やインターネットコミュニティ、Eコマース（電子商取引）などの利用者も増加している。このような我々の生活スタイルの変化が、C2 の「リアル」を用いた複合名詞のバリエーションの増加に繋がったものと見られる。

第二に、D、F－H の各タイプの「リアル」は、その他のタイプに比べて、意義が特殊化しており、後項名詞との結び付きが強い。それゆえ、造語力（生産性）に乏しく後接可能な名詞は限定されている。

最後に、2001 年に登場している E の「リアル」は、D の「リアルタイム」の縮約形にあたり、リアルタイムで動くものやリアルタイムで伝達されるものを表す名詞が後接する。

<sup>1</sup> 総務省が Web 上で公開している統計調査データベースにおいて調査結果が公開されている。  
([www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05a.html](http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05a.html))

以上、本節では、書籍における〔リアル＋名詞〕の語彙バリエーションについて分析した。次に、専門領域の相違という観点から、国会会議録における〔リアル＋名詞〕の語彙バリエーションを書籍の語彙バリエーションと比較する。

#### 4. 国会会議録における〔リアル＋名詞〕

次の表 5 は、国会会議録に存在した〔リアル＋名詞〕を構成要素とする普通名詞における「リアル」の意義である。なお、意義カテゴリーの種類を表すアルファベットは、表 4 に準じ、表 4 に存在しないものは新たに追加した。以後も新たな「リアル」の意義を挙げる際は、この方法を用いることとする。また、表 4 の B と意義的に近いものが存在したので、これを B2 とした。従って、以後、表 4 の B は B1 として扱う。また、K1 - K4 は、「実質」という意義を含んでいるという点で共通しているので、K の下位カテゴリーとして位置づけた。

表 5 〔リアル＋名詞〕における「リアル」の意義（国会会議録の普通名詞）

A1	「偽りの」に対する「本物の」「正真正銘の」の意
B2	「実体・実態からかけ離れている」に対する「実体・実態通りの」の意
C1	「空想上の」「虚構の」に対する「現実の」「実際の」「実社会の」の意
C2	「サイバー上の」に対する「現実の」「実際の」「実社会の」の意
D	「現在と一致しない」に対する「現在と一致する」の意
E	「リアルタイムの」の意
G	「理念を重視する」に対する「現実の力関係や利益を重視する」の意
I	英語の‘real estate（不動産）’という連語を構成する単語の一部、「実質の」という意の解釈とスペイン語の‘real’に由来する「王の」という意の解釈がある
J	「三次元時空の」に対する「三次元時空に時間を加えた四次元時空の」の意
K1	「物価変動の影響がある」に対する「物価変動の影響を除外した（実質的な）」の意
K2	「関税が付加された」に対する「関税が付加される前の（本来の、実質的な）」の意
K3	「国の経済対策のうち経済成長率（GDP）を直接（実質的に）押し上げる効果のある」の意
K4	「今後かかることが予想される」に対する「実際にかかった（実質的な）」の意
L	「無形の」に対する「実体のある・実物の」の意
M	「資産市場の」に対する「消費財や投資財の生産と分配に関わる財市場、労働市場の」の意
N	「後項要素のイベントの実現」の意

各意義に対応する〔リアル＋名詞〕には、次の表 6 に挙げる要素が存在した。

表6 意義ごとに見た〔リアル+名詞〕の異なり例（国会会議録の普通名詞）

A1	〔リアル+ディフェンスフォース〕1953、〔リアル+ウイルス〕1956、 〔リアル+ピース〕1991
B2	〔リアル+画像〕1998、〔リアル+イメージ〕1999
C1	〔リアル+ビジネス〕1994、〔リアル+リスク〕2003、〔リアル+ワールド〕2010
C2	〔リアル+空間〕1999、〔リアル+ワールド〕2000、〔リアル+取引〕2001、 〔リアル+スペース〕2002
D	〔リアル+タイム〕1986
E	〔リアル+通信〕2000
G	〔リアル+ポリティック〕1999
I	〔リアル+エステート〕1999
J	〔リアル+ワールド〕1995
K1	〔リアル+ウェイジ〕1953、〔リアル+ターム〕1956、〔リアル+ベース〕1982、 〔リアル+エコノミー〕1998
K2	〔リアル+プライス〕1964
K3	〔リアル+マネー〕1987、〔リアル+ウオーター〕1993
K4	〔リアル+コスト〕2003
L	〔リアル+リソース〕1976
M	〔リアル+経済〕2002
N	〔リアル+バンククリーンアップ〕2002

表5に挙げた「リアル」の意義のうち書籍に存在しなかったものは、B2とI-Nである。B2を除くI-Nの「リアル」は、政治、経済、科学技術と関わる特殊な意義を表しており、後項名詞との結び付きが強く、後接可能な名詞は限られている。また、いずれも、専門用語的性格が強く、その中には、K1の〔リアル+ターム〕と〔リアル+ベース〕、K3の〔リアル+マネー〕と〔リアル+ウオーター〕のように、同一の知的意味を表しながら、用語が固定していないものも存在する。いずれを用いるかは、発話者の相違による要因もなくはないが、主に時代の相違と対応しており、延べ6例存在した〔リアル+ターム〕（発言者は異なり数2名）は1956年と1964年に使用されており、延べ5例存在した〔リアル+ベース〕（発言者は異なり数1名）は1982年と1984年に使用されている。また、延べ12例存在した〔リアル+マネー〕（発言者は異なり数7名）は1987年に使用されており、延べ3例存在した〔リアル+ウオーター〕（発言者は異なり数3名）は1993年に使用されている。

次に、「リアル」の意義ごとに見た〔リアル+名詞〕の異なり数の割合と延べ数の割合を、書籍と国会会議録とで比較した。次頁の表7は、書籍、国会会議録の各々における、「リアル」の意義ごとに見た〔リアル+名詞〕の異なり数と延べ数ならびにそれぞれの割合を示している。なお、延べ数の割合は、いずれもDが他のタイプより格段に高いので、D以外については、Dの延べ数を除外した上で比較することとした。表7中の（ ）の数値は、

Dの延べ数を除外して算出した数値に相当する。以後も、各意義の延べ数とその割合を挙げる際は同様の方法を取ることにする。

表7 [リアル+名詞]の異なり数、延べ数とその割合（書籍と国会会議録の普通名詞）

	異なり数とその割合				延べ数とその割合			
	書籍		国会会議録		書籍		国会会議録	
	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)
A1	5	17.86	3	10.71	18	(33.96)	5	(6.85)
A2	1	3.57	0	—	1	(1.89)	0	—
B1	4	14.29	0	—	4	(7.55)	0	—
B2	0	—	2	7.14	0	—	5	(6.85)
C1	2	7.14	3	10.71	2	(3.77)	4	(5.48)
C2	10	35.71	4	14.29	19	(35.85)	9	(12.33)
D	1	3.57	1	3.57	223	80.80	1,271	94.57
E	2	7.14	1	3.57	3	(5.66)	1	(1.37)
F	1	3.57	0	—	1	(1.89)	0	—
G	1	3.57	1	3.57	4	(7.55)	4	(5.48)
H	1	3.57	0	—	1	(1.89)	0	—
I	0	—	1	3.57	0	—	5	(6.85)
J	0	—	1	3.57	0	—	5	(6.85)
K1	0	—	4	14.29	0	—	14	(19.18)
K2	0	—	1	3.57	0	—	1	(1.37)
K3	0	—	2	7.14	0	—	15	(20.55)
K4	0	—	1	3.57	0	—	1	(1.37)
L	0	—	1	3.57	0	—	2	(2.74)
M	0	—	1	3.57	0	—	1	(1.37)
N	0	—	1	3.57	0	—	1	(1.37)
計	28	100.00	28	100	276 (53)	100.00 (100.00)	1,344 (73)	100.00 (100.00)

表7のうち、[リアル+名詞]の異なり数の割合が15%以上のものに注目すると、書籍では、C2が35.71%と最も高く、「リアル」の借用元に当たる英語の‘real’のプロトタイプの意義でもあるA1が17.86%と次いで高かった。一方、国会会議録には、15%以上のタイプは存在しなかった。また、Dの数値を排除した延べ数の割合が15%のものに注目すると、書籍では、先と同じくC2が35.85%と最も高く、A1が33.96%と次いで高かった。一方、国会会議録では、K3が20.55%と最も高く、K1が19.18%と次いで高かった。いずれも、経済と関わる特殊な

意義である。

以上、本節では専門領域の相違という観点から、国会会議録における〔リアル＋名詞〕の語彙バリエーションについて書籍と比較してきた。次に、情報の伝達目的の相違という観点から、雑誌における〔リアル＋名詞〕の語彙バリエーションを書籍と比較する。

## 5. 雑誌における〔リアル＋名詞〕

次の表 8 は、雑誌に存在した〔リアル＋名詞〕を構成要素とする普通名詞における「リアル」の意義である。

表 8 〔リアル＋名詞〕における「リアル」の意義（雑誌の普通名詞）

A1	「偽物の」に対する「本物の」「正真正銘の」の意
A2	「簡易的な」「一般的な」に対する「本格的な」「ハイクラスの」の意
B1	「真実らしさに欠けている」に対する「真に迫っている」の意
B2	「実体・実態からかけ離れている」に対する「実体・実態通りの」の意
C1	「空想の」「虚構の」に対する「現実の」「実際の」「実社会の」の意
C2	「サイバー上の」に対する「現実の」「実際の」「実社会の」の意
D	「現在と一致しない」に対する「現在と一致する」の意
O	「実生活に適さない」に対する「実生活に適した」の意

各意義に対応する〔リアル＋名詞〕には、表 9 に挙げる要素が存在した。

表 9 意義ごとに見た〔リアル＋名詞〕の異なり例（雑誌の普通名詞）

A1	〔リアル＋ファー〕 2001、〔リアル＋レザー〕 2001、〔リアル＋サーファー〕 2004、〔リアル＋ユースカルチャー〕 2004、〔リアル＋カーボン〕 2005、〔リアル＋クロコ〕 2005、〔リアル＋ファイト〕 2005
A2	〔リアル＋ヒップホップスタイル〕 2002、〔リアル＋サーフ〕 2003、〔リアル＋ブラック〕 2003、〔リアル＋スポーツ〕 2004、〔リアル＋アメリカンラグジュアリー〕 2005、〔リアル＋志向〕 2005
B1	〔リアル＋話〕 2002、〔リアル＋イラスト〕 2003、〔リアル＋エンターテイメント〕 2004、〔リアル＋タイプ〕 2003、〔リアル＋フィギュア〕 2005
B2	〔リアル＋ビュー〕 2003、〔リアル＋サウンド〕 2004、
C1	〔リアル＋体験談〕 2002、〔リアル＋頭身〕 2003、〔リアル＋ライフ〕 2005
C2	〔リアル＋ワールド〕 2001
D	〔リアル＋タイム〕 2001
O	〔リアル＋クロージング〕 2004、〔リアル＋クローズ〕 2004、〔リアル＋スタイル〕 2005

表 8 に挙げた「リアル」の意義のうち、書籍に存在しなかったものは B2 と O の二つであ

る。このうち、2004年から現れたOの「リアル」はファッション業界の専門用語に用いられる特殊な意義で、後接可能な名詞は限定されている。

次に、「リアル」の意義ごとに見た〔リアル+名詞〕の異なり数の割合と延べ数の割合を調べたところ、次の表10のようであった。

表10 〔リアル+名詞〕の異なり数、延べ数とその割合（雑誌の普通名詞）

	異なり数とその割合		延べ数とその割合	
	数	割合(%)	数	割合(%)
A1	7	25.00	11	(26.83)
A2	6	21.43	7	(17.07)
B1	5	17.86	9	(21.95)
B2	2	7.14	2	(4.88)
C1	3	10.71	3	(7.32)
C2	1	3.57	1	(2.44)
D	1	3.57	44	51.76
O	3	10.71	8	(19.51)
計	28	100	85	100
			(41)	(100)

表10のうち〔リアル+名詞〕の異なり数の割合が15%以上のものに注目すると、A1が25.00%と最も高く、次いでA2が21.43%と高く、B1が17.86%と三番目に高かった。これらの「リアル」は、人々の趣味、趣向、関心事と関わる名詞と結び付き、その名詞の表す事物の品質の良さをアピールしたり、その事物が現実志向であることを表したりするのに用いられている。

また、Dの数値を排除した延べ数の割合が15.00%以上のものに注目すると、A1が26.83%と最も高く、次いでB1が21.95%と高く、続いてOが19.51%と3番目に高く、最後にA2が17.07%と四番目に高かった。従って、Dの数値を排除した延べ数の割合が1位の「リアル」は、異なり数の割合が1位の「リアル」と順位が一致している。

以上、本節では情報の伝達目的の相違という観点から、雑誌における〔リアル+名詞〕の語彙バリエーションについて書籍と比較した。次に、同様の観点から、ブログにおける〔リアル+名詞〕の語彙バリエーションを書籍と比較する。

## 6. ブログにおける〔リアル+名詞〕

次頁の表11は、ブログに存在した〔リアル+名詞〕を構成要素とする普通名詞における「リアル」の意義である。



表 11 [リアル+名詞] における「リアル」の意義 (ブログの普通名詞)

A1	「偽物の」に対する「本物の」「正真正銘の」の意
A2	「簡易的な」「一般的な」に対する「本格的な」「ハイクラスの」の意
B1	「真実らしさに欠けている」に対する「真に迫っている」の意
B2	「実体・実態からかけ離れている」に対する「実体・実態通りの」の意
C1	「空想の」「虚構の」に対する「現実の」「実際の」「実社会の」の意
C2	「サイバー上の」に対する「現実の」「実際の」「実社会の」の意
D	「現在と一致しない」に対する「現在と一致する」の意
E	「リアルタイムの」の意

各意義に対応する [リアル+名詞] には、次の表 12 に挙げる要素が存在した。

表 12 意義ごとに見た [リアル+名詞] の異なり例 (ブログの普通名詞)

A1	[リアル+ダーリン] 2008、[リアル+年齢] 2008、[リアル+ファー] 2008、 [リアル+ファイト] 2008
A2	[リアル+ダウンヒルマシン] 2008、[リアル+ブラック] 2008
B1	a1. 人口的事物が自然の事物 (=真) のように見える [リアル+カモ柄] 2008、[リアル+ステッカー] 2008、[リアル+ドール] 2008 a2. 虚構的事物が実際の事物 (=真) のように見える [リアル+アクション] 2008、[リアル+バラエティー] 2008、 [リアル+フィギュア] 2008、[リアル+路線] 2008、[リアル+ロボット] 2008 b1. 自然の事物が人口的事物 (=真) のように見える [リアル+招き猫] 2008 b2. 実際の事物が虚構的事物 (=真) のように見える [リアル+季封村] 2008)、[リアル+コナン] 2008
B2	[リアル+カラー] 2008
C1	[リアル+出所] 2008、[リアル+すれ違い] 2008、[リアル+ライフ] 2008
C2	[リアル+店舗] 2008、[リアル+友] 2008、[リアル+友達] 2008、[リアル+腐友] 2008
D	[リアル+タイム] 2008
E	[リアル+閲覧者数] 2008、[リアル+視聴] 2008、[リアル+情報] 2008、 [リアル+ショット] 2008

表 11 の「リアル」の意義のうち、書籍に存在しないものは B2 のみであるが、表 12 に B1 の下位類として表示した b1、b2 も同じく書籍に存在しない。b1、b2 は、現在のところ、どちらかというところと臨時的であり、新奇性はあるが規範性は低い。

次に、「リアル」の意義ごとに見た [リアル+名詞] の異なり数の割合と延べ数の割合を、調べたところ、次頁の表 13 のようであった。

表 13 [リアル+名詞] の異なり数、延べ数とその割合 (ブログの普通名詞)

	異なり数とその割合		延べ数とその割合	
	数	割合 (%)	数	割合 (%)
A1	4	13.33	5	(11.90)
A2	2	6.67	2	(4.76)
B1	11	36.67	13	(30.95)
B2	1	3.33	2	(4.76)
C1	3	10.00	4	(9.52)
C2	4	13.33	6	(14.29)
D	1	3.33	128	75.29
E	4	13.33	10	(23.81)
計	30	100.00	170	100
			(42)	(100)

表 13 のうち [リアル+名詞] の異なり数の割合が 15.00%以上のものに注目すると、B1 が 36.67%と最も高く、これ以外は 15.00%に達していなかった。この B1 の「リアル」は、人々の趣味、趣向、関心事と関わる名詞と結び付き、その名詞の表す事物が現実志向であることを表すのに用いられている。

また、Dの数値を排除した延べ数の割合が 15.00%以上のものに注目すると、同じく B1 が 30.95%と最も高く、次いで E の「リアル」が 23.81%と高かった。E の「リアル」は、書籍において 2001 年に初めて登場しており、国会会議録においても 2000 年に初めて登場しているが、「リアルタイム」の略語に当たるという点において規範性がやや劣る。このように、ブログでは他のコーパスに比べ規範からずれた使い方が好まれる (あるいは受容される) 傾向が見られる<sup>2</sup>。

## 7. さいごに

以上の考察より、すべてのコーパスの共通点として、「リアル」は [リアル+タイム] の構成要素として用いられることが最も多いことが明らかとなった。また、それ以外の傾向として、書籍ではサイバー世界と現実世界の対比の中で用いられやすく、国会会議録では政治、経済、科学技術と関わる特殊な意義で用いられやすく、雑誌では人々の趣味、趣向、関心事と関わる事物の品質の良さをアピールするのに用いられやすく、ブログでは人々の趣味、趣向、関心事と関わる事物が現実志向であることを表すのに用いられやすいことが明らかとなった。さらにブログでは、他のコーパスに比べ規範からずれた使い方が好まれる (あるいは受容される) 傾向にあることが確認できた。

<sup>2</sup> ブログでは、他のコーパスよりも後項名詞に外来語以外のものが現れる割合が高い。この点からも、ブログが他のコーパスより規範性からずれた使い方を好む (あるいは受容する) 傾向にあることがうかがえる。